

地域活性化 インタビュー

ゲストⅡ津山国際総合音楽祭事務局
竹内 治雄さん
聞き手Ⅱパーソナリティ ウテ

ー9月13日(土)から10月19日
(日)まで、前・後期に分けて開催
される「第9回

津山国際総合音楽
祭」は22のプロ
グラムを予定して
いるそうですが。

前期は主にプロ
のコンサートの中
心に。後期はアマ
チュアを中心に構
成しています。大きな目玉は、まず、
人気女性指揮者・西本智実さんの指
揮によるオーブニングコンサートや



藤岡幸夫さんの指揮で、関西フィル
ハーモニー管弦楽団がテーマ作曲家
グスタフ・マーラーの交響曲第6番
を演奏します。

後期は、日本音楽コンサート、合
唱・室内楽コンサート、ブラスフェ
ステイバル、きんちやい座ミュージ
カル「しもやけライオン」などを企
画しています。

ー今回の新たな試みは。

この音楽祭のために、中高校生に
よるジュニアジャズバンド(JJB)
を募集・結成しました。ジャズフェ
ス(9月26、27日)の2日目が本番
なのですがそれに向けて猛特訓で練
習しています。

ー3年に一度開催されている音楽祭
は今回第9回目で、30年近く続い

ています。音楽を通じて津山がどう
なつてほしいですか。

当然、津山市民がもっと、音楽に
親しんでほしい。マーラーは一度聴
いたら、やみつきになるぐらい立派
なもの。イメージ的に敷居が高いと
思っていたのが、スツート入ってく
るのです。是非、生の演奏を聴いて
いただきたい。

日本全国、海外からも聴きに来て
いただき、そういうお客さんをおも
てなしするということも大切なので
は。大きな志で皆さんをお迎えし、
一緒に音楽を楽しんでいただけたら
と思います。

ー「国際」がついています。いろん
なところから来た方に津山を知って
もらうきっかけにもなりますね。